



雨の合間に差し込む日差しに、初夏の訪れを感じられるようになりましたね。砂場での泥んこ遊びや水遊びなど、この時期ならではの遊びを楽しめるようにしながらすごしていきたいと思います。

トマトができました

プランターで育てているミニトマトが収穫できるようになってきました。植えた時は「ぶどうができてほしい」「りんごかな」などと言っていた子どもたちでしたが、実が付き始めると、「トマトだ」と気づいていく姿がありました。「なんか色が違う!」と実が色づいていく様子にも気づき、水やりをしながらトマトが赤くなるのを待っていました。

1番最初に収穫した時は、5つトマトがとれました。

教師「このトマトどうする？」

子ども「食べる!」「うん、食べる~」

教師「誰が食べるの？」

子ども「みんなで」

教師「トマトは5個だけなんだけど…どうやって？」

子ども「切る!」「こうやって切ってさ~（包丁で切る身振りをする）」

教師「なるほどね!じゃあ切って分けようか」



ということで、1番最初に収穫したミニトマトは、みんなで切って食べました。一人4分の1ずつの小さなトマトでしたが、「甘い~」「私のはめっちゃ甘い」「おいしい」と言いながら、食べていました。トマトが苦手な子も、ペロッと舐めてみたり、「好きじゃないけど食べれた」と言ったりしていました。自分たちで作ったトマトという気持ちや友だちの姿を見て、食べてみようという気持ちになったのでしょうか。

その後、収穫できたトマトは、今順番に持ち帰っています。おうちで食べたよという話を子どもたちは教えてくれます。この収穫したトマトをどうしていくか、持ち帰る順番をどうするか…というのも、みんなで考えていきましたが、自分から持って帰りたいたいという気持ちが強く、持ち帰る順番はなかなか決まりませんでした。それぞれが自分からがいい!と主張したり、「もうわからな



くなってきた～」と言ったりしながら、ウンウン考え、そこに教師からこんな方法もあるよと提案して…最終的には出席番号順で、後ろの子から持ち帰るということになりました。

今のばら組の子どもたちにとって、考えていくのが難しいことでしたが、その中でも自分の思いを出す姿が見られました。自分の思い、気持ちを出す姿を受けとめながら、色々なことを、その時その時の子どもたちなりに、みんなで考えていくことを大切にしていきたいと思っています。

水遊び、楽しいね

「水遊びの用意するよ～」と声をかけると、「やった～」と嬉しそうに言いながら準備を始めています。自分で着替えたり、脱いだ服をたたんだりすることも、自分の力でがんばっていますよ。着替えた後は、遊戯室でディズニー体操をしてから、水遊びを始めています。



水鉄砲をメインに楽しんでいます。

上に向かってうって雨のようしてみたり、鉄棒にぶら下げた的に当てたりして遊んでいます。

なかよしタイム

6月は『なかよしタイム（年長児と一緒にする活動）』で、サツマイモの苗さし・水やり、七夕飾り（輪つなぎ作り）、じゃんけんゲームをしてきました。サツマイモの苗さしや七夕飾り作りでは、年長児に教えてもらいながら取り組みました。じゃんけんゲームでも教えてもらったり、じゃんけんで何を出すのか一緒に考えたりしてゲームを楽しみましたよ。「私は〇〇ちゃん」「××くんだよ」と一緒に活動する年長児の名前を覚え始めたり、遊んでいる時間に手をふってみたりと、親しみの気持ちをもち始めています。



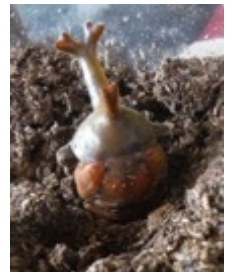
年長児がしている
お店やさんでお買
い物。遊びの中で、
年長児とかかわり
をもつ姿も見られ
ます。 →→→



生き物いろいろ

虫を中心に生き物に興味をもっている子が多いばら組さん。最初は「さわれやん〜」「先生、つかまえて〜」と言っていた子や興味がなかった子たちも、友だちの姿に刺激を受けさわってみたり、繰り返し虫探しをする中でつかまえられるようになってきています。そんな子どもたちの姿に合わせて、実際に見たり触れたりするだけでなく、虫が出てくる絵本や図鑑を用意しながら、生き物とのかかわりを楽しんでいます。

ばら組では今、カタツムリ、ダンゴムシ、カブトムシ（サナギと成虫がいます）、ヤゴ、ザリガニ、おたまじゃくしを飼っています。ツマグロヒョウモン、モンシロチョウの幼虫も飼っていましたが、全てサナギになり、チョウになり飛びたっていました。



子どもたちは生き物の様子をよく見ています。「なんか色が変わってきた」「チョウになってる」と気づいたことを話したり、サナギになる前にぶら下がり出す幼虫の様子を見て「ブランコしてるんちゃう？」「鉄棒と思う」と言ったり、「カタツムリってトマト食べるのかなあ」と考えて試してみたり…生き物とかかわる中で、「なんでだろう」「どうなるのかな」「こんなふうになるんだ！」「すごい！」と、色々なことに気付いたり、考えたりしています。実際に、自分の目で見て、考えて、確か

めて…と実際に体験することは子どもたちにとって、とても大切なことです。考える力、学ぶ意欲につながっていきます。

大人からしたら、“当たり前”と思うようなことも、子どもにとっては「なんで？」「すごい！」「ふしぎ！」と感ずることが、たくさんありますね。調べればなんでもすぐにわかってしまう時代ですが、子どもたちが自分たちで考えたり、気づいたりしていくことを大切に、気づいたり考えたりすることを一緒に楽しんでいきたいなと思っています。



遊び、楽しんでます

戸外では、砂場、色水遊び、虫さがし、鬼ごっこ、シャボン玉など。室内では、積み木やままごとの道具を使ってのごっこ遊び、制作（ごっこ遊びに必要なものを作ったり、絵を描いたり）など、一人一人が自分の好きな遊びを楽しんでいます。

自分の興味があることに自分のペースで取り組むだけでなく、友だちと一緒に遊んだり、友だちと同じことをしてみたり、少しずつ周りにはいる友だちとかかわって遊ぶ姿が見られるようになってきました。朝、友だちに会うと「おはよう」と挨拶をしたり、「〇〇くん来た？」と友だちが登園してくるのを待っていたり、帰る時には、「ばいばーい！」と友だちに挨拶をする姿があり、だんだんと友だちとのかかわりが嬉しくなっているのだと感じています。

また、園での生活がわかり、慣れてきたことで、自分の思いを少しずつ出せるようになってきた姿もあります。その中で、自分と友だちの思いが違いから、うまく遊べなかったり、思いが伝わらなかったり…といった姿が見られることもあります。

まだまだ自分の思いが先に出てしまったり、言葉だけで表現することが難しかったりします。「あなたの気持ちは？」「友だちはどんな気持ち？」「どうやって言ったらいいかな？」など、一人一人の気持ちを聞き、丁寧に受けとめたり、一緒に考えたり、時には「〇〇って言ってごらん」「こうやってするといいよ」と具体的に伝えたりしながら、人（友だち）とのかかわり方を学んでいけるようにしています。

